

令和8年度 第2回 豊田市石野地域会議 会議録

開催日時	令和8年5月26日（火）	開会	閉会
		午後7時	午後8時15分
会 場	石野交流館 大会議室		
出 席 者	地域会議委員：13人		
	会長：梅村 清春 副会長：大岩 芳伸		
	委員：河原 信昭 清水 克彦 清水 重春		
	清水 剛 竹田 祐司 手嶋 直人 中川 広恵		
	中根 学 丹羽 昭仁 藤村 輝夫 松井 美佑		
欠 席 者	1名 生田 源彦		
傍 聴 者	なし		
事 務 局	猿投支所：小澤支所長、天野副支所長、前田主査、宮石担当長		
内 容	1 豊田市民の誓い 2 会長あいさつ 3 新たな提言に向けた取組について 4 その他		

■議事（要約）

2 会長あいさつ

愛岐トンネル群新聞記事紹介。石野地区もトンネルの活用を検討中だが、近い将来同じように地域が盛んになることを望む。先日、石野区長会とともに米原市大野木長寿村まちづくり会を視察した。元気な高齢者が地域を支える取組であった。昨年度、地域会議で協議してきた石野の課題についても、高齢者の問題が挙げられている。高齢者のほかに、障がい者や地域になじめない移住者など、地域で支え合う必要性もある。今回の協議では、8月の提言書の提出に向けて今年度の委員でその提言の確認をしたい。

3 新たな提言に向けた取組について（協議）

（1）資料1頁から3頁までを事務局から説明（提言の流れ説明）

【質疑応答】

委員：提言にデータを載せて、説得力を持たせることが必要ではないか？ どのようなデータを見せていくのが課題だと思っている。

→説得力を持たせるにはデータの掲載は必要であると思う。

委員：提言にあたってはどのようなデータを何と比較するのか、石野地区特有の課題なのか全国的な課題なのかを明らかにする必要がある。

→このようなデータが必要ではないかというアイデアがあれば教えてほしい。検討し、提供が可能なものは事務局で用意する。

副会長：開発審査会基準第18号の開発で移住した方や、子育て世代の推移など詳細

な人口動向のデータはないか？

→石野地区限定か、また必要とする項目のデータの有無は確認する。

委員：市で入手可能なデータを提供してほしい。また、それに基づいて石野地区の現状、課題を表現してほしい。現状だけではなく、過去から将来の推計もほしい。必要な推計があれば地域で調べることもできると思うので、検討したい。

→どのようなデータが必要になるのかなど、どのように石野地区をデザインするのかによるので、地域会議で協議をしてほしい。必要なデータについては関係部署に問い合わせ、可能なものは用意したい。

委員：石野地区だけの推計はあるのか？

→現状すぐにお示しできるものはない。

委員：以前、町ごとの推計を示された方がいらっしゃったが、そのようなデータがあれば、わかりやすいと思う。

→人口動態のデータはお示しできる。

委員：石野地区の中でも人口はじめ、格差があることが問題だと私は思っている。それを見据えて高齢化対策を考えることが、石野地区の課題解決になると思う。

(2) 資料1頁から3頁までを事務局から説明（前回の提言と事業化について説明）

委員：お助け隊について伺いたい。お助け隊に対する自分のイメージと、昨年度協議された内容が違つと、協議の方向が異なってくるので、昨年度のイメージを確認しておきたい。

会長：昨年度はいさとお助け隊について、いさとお助け隊の代表から話を伺い、石野地区に合うかどうか参考にさせていただいた。今年度中に具体的な石野のお助け隊のイメージを固めたい。

アンケートを取ることで、石野地区の住民が何に困っているのかを調査し、地域会議内にプロジェクトチームを組んで、どのようにしたら助けられるのか、話し合いをしてもらいたいと考えている。プロジェクトチームで話し合った結果を、地域会議全体場で協議して、お助け隊の内容を作っていきたい。

委員：まずアンケートを実施することは賛成。そのアンケートは、戦略的にあらかじめ結論を想定して行うアンケートを考えているのか？

会長：アンケートの内容についてもこれから検討していく。皆さんで協議しながら今年度アンケートを発送できればと考えている。

委員：8月に提言するということだが、その提言には具体的に決まったことがなくても大丈夫か？

→市側の予算化のスケジュールの都合があるので、来年度に事業化する前提で提言を8月に設定している。事業化するには、具体的な内容があった方がよいが、提言を出す時期を延ばすことも選択肢の一つと思う。

委員：アンケートの実施を提言に含めるのか？短期的な事業を提言することもあるのか？

→提言は、中長期的な視野から地域の課題をとらえ、そこに必要な事業はもう少し具体的な形になるイメージ。事業は短期的でも可だが、今回の個人ワークで、例えばデータをもっと載せる必要があるとか、逆に全体をより抽象的にしたらどうかとか、アンケートを実施してその結果で事業を考えてはどうかなど、意見として寄せていただきたい。今回の意見をもとに提言の内容を検討したい。次回の地域会議で、皆さんの意見をまとめてお示しする予定。

委員：地域課題解決事業は3年程度の事業期間の想定か？

→3年とは限らない。

委員：地域課題解決事業の予算の上限の設定はあるのか？

→上限はない。ただし目安は2千万円としている。

委員：いずれにしても人的資源が最も大切な気がする。石野地区は議論し、実施内容を決めても、実行に課題がある状態だった。そこを何とかしたい。現在の区長会ならやる気のある方も多く、頼りになる。

→人的資源の話も提言に含めていければいいと思う。「関係人口」の活用も必要と思う。

委員：地元で自主防災の話を若い人たちと話してきたが、YouTubeで防災のPRをするなどのアイデアが出てくる。若い人は時間をかけず、適切なところで行動できる。そのような動きが必要と思う。

提言書に対する修正事項等のワークシート記入

書ききれない場合は5月29日（金）までに事務局へ提出。

4 その他

【事務連絡】

- ・地域会議だよりの発行確認
- ・次回の予定

日 時：令和8年6月23日（火）午後7時から

場 所：石野交流館 1階 大会議室